

しょう ひと ひと とも い しゃ かい
「障がいのある人もない人も共に生きる社会」

て び
をつく
を作るための **手引き**

だい じ
大事な
やく そく
約束



やま がた けん しょう ひと さ べつ しょう
山形県では、障がいのある人への差別をなくしていくこと、障
いのある人とない人とで区別することなく、お互いに人格と個性を
そんちよう あ とも い しゃ かい め ざ
尊重し合いながら共に生きることができると目指しています。

ひと り しょう ひと たい
そのためには、みなさん一人ひとりが、障がいのある人に対する
ご かい へん けん しょう ひと たい この
誤解や偏見をなくしていくこと、障がいのある人に対する好ましく
ないたいおう たい ど しょう ひと せい かつ
ない対応・態度をなくしていくこと、障がいのある人が生活するう
えで必要な心くばり（相手のことを考え、やさしい気持ちをもって
こう どう おこな たい せつ
行動すること）を行っていくことが大切です。

やま がた けん やく わり しょう ひと
山形県では、みなさんの役割として、障がいのある人についての
り かい ふか ねが
理解を深めてもらうことをお願いしています。

しょう ひと さ べつ と く
みんなで、障がいのある人への差別をなくしていくよう取り組ん
でいきましょう。



しょう り ゆう
障がいを理由とする
さ べつ じ れい
差別の事例



このような行為は「差別」ですので、絶対にやめましょう。もし、
ともだち し あ ひと こう い み ちゅうい
友達や知り合いの人がこのような行為をしているのを見たら、注意
してあげましょう。



しょう ひと わら
障がいのある人を笑ったり、
ばかにしたりする。

あいて おも たいど
※相手がそうされたと思うような態度を
と 取ることもやめてください。

しょう ひと
障がいのある人を
じろじろ見る。

あいて ふ あん おも
※相手は不安な思いをします。



しょう ひと む し
障がいのある人を無視して、
ほか ひと はな
他の人にだけ話しかける。

む し ひと かな
※無視された人は悲しくなります。



しょう

ひと

障がいのある人への

ひつ よう

こころ

じ れい

必要な心くばりの事例



しょう ひと しょう ひと おな せい かつ
 障がいのある人が、障がいのない人と同じように生活することが
 できるように、その人の障がいに合わせた心くばりをするのが大
 切です。しょう ひと こま じ れい
 障がいのある人が困っていたら、「どうかしましたか？」「お
 てつだ
 手伝いすることはありますか？」と、声をかけましょう。

しょう ひと なに こま なに
 また、障がいのある人も、何に困っているのか、何をしてほしい
 のかを相手に伝え、理解してもらうように努めましょう。お互いに
 あいて つた り かい つと たが
 相手を理解し、お互いの立場に立って心くばりや工夫を行っていく
 あいて り かい たが たち ば た こころ く ふう おこな
 ことが大切です。

しょう

ひと

こま

障がいのある人が困っていたら、

「どうかしましたか？」、「何かお

てつだ
 手伝いすることはありますか？」

と、声をかける。



からだ

しょう

ひと

たい

体に障がいのある人などに対し

て、移動しやすいように、扉を開け

る、車イスを押す、段差にスロープ

を用意するなどの手助けをする。

ヘルプマーク



これらの
マークやカードを
みかけたら、
ぜひ協力や心くばりを
ねが
お願いします!!

やさしい心で
あか みらい
明るい未来を。



ヘルプカード

あなたの支援が必要です。

ヘルプカード



外側からは分からなくても、みな
さんの協力や心くばりを必要として
いる人が、自分のカバンなどの持ち
物につけて、周りの人に協力や心く
ばりを必要としていることを知らせ
るためのものです。

何かあったときの自分の連絡先や
みなさんに協力してもらいたいこと
などが書かれたカードで、普段の生
活の中で困ったときなどに、周りの
人に見せて、協力や心くばりを願
いするためのものです。

「障がいのある人」とは…

体を自由に動かすことができないこ
とや、耳が聞こえないこと、脳や心
の働きがうまくいかないことなど
により、日常生活に様々な制限を受け
ている人のことを「障がいのある人」
と呼んでいます。

メモ帳



大事だと思ったことや気付いたことなどがあれば、
忘れずに書いておきましょう。